

教員名	浅川 陽子 (ASAKAWA Yoko)
所属	子ども発達教育研究センター
学位	教育学士 (1979 お茶の水女子大学) 人文科学修士 (2006 お茶の水女子大学大学院)
職名	講師
URL / E-mail	asakawa.yoko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード

教育実践研究 / 幼小中の連携 / 授業とカリキュラム / 教育方法 / 教師の学び

◆主要業績

総数 (21) 件

- ・『ことばの生まれ育つ教室ー子どもの内面を耕す授業』 (金子書房 2006 年 1 月) を、本学内田伸子理事副学長の監修のもとで、刊行した。附属小学校における約 6 年間の教室実践を省察したものである。
- ・(共著)『ともに育つ「ことば」の学習』を、附属小学校 NPO 法人お茶の水児童教育研究会から (2006 年 1 月) 刊行した。pp.14-22、pp36-43、pp126-131
- ・文部科学省研究開発学校、第 69 回教育実際指導研究会において「協働して学びを生みだす子どもを育てる一幼・小・中 12 年間の適時性と連続性を考えた連携型一貫カリキュラムの開発 (2 年次) 発表要項」(お茶の水女子大学附属幼稚園・小学校・中学校) pp7-15

◆研究内容

- 1 お茶の水女子大学附属幼・小・中が教育課程の研究開発学校として (平成 17 年度～19 年度) 文科省より委嘱された「協働して学びを生みだす子どもを育てる一学びの適時性と連続性を考えた連携型一貫カリキュラム」の開発において、異校種連携研究の企画委員長として推進に携わった。
- 2 保育や授業の実際を検討するなかで子どもの学びについて語り合い、教師の力量を高める。そのような校内研究の在り方を探究するという趣旨で、公立幼稚園や小学校の校内研究会に講師として参画した。
- 3 「教師としての経験から学ぶー自らの実践記録の省察を通してー」という題目で、現職教員の実践研究としての修士論文をまとめた。
- 4 子ども発達教育研究センター教育みらい開発部門、シティズンシップ教育の開発研究プロジェクトとして、お茶の水女子大学 COE「誕生から死までの人間発達科学」プロジェクト 3 思想史サブプロジェクトとの共催で 2 回のセミナーを開催した。

◆Research Pursuits

Study Overview

In order to improve school curriculum, I promoted and implemented joint research project commissioned by the Education Ministry from 2005 to 2007 as a project supervisor. On the other hand, as a visiting lecturer, I was invited to many workshops held by public schools and kindergartens. Looked at the last dozens of years from an experienced teacher, I put my own research practices into a Master's thesis. As a project leader, I conducted several seminars of citizenship education at Ochanomizu University.

◆共同研究例

- ・文科省委託事業「新教育システム開発プログラム」『体験活動に関する調査研究』の調査協力者会議協力者として参画。
- ・浦安市立舞浜幼「発達と学びの連続性を図るための保育指導」研修で3回の講義。

◆共同研究可能テーマ

- ・保育や授業を協働で省察するシステムを開発し実践者の資質能力を高める

◆将来の研究計画・研究の展望

- ・本学附属校園の実践研究をつなぎ、大学一附属の連携を深めて成果をあげること。
- ・実践研究を協働でおこなうシステムをつくること。
- ・授業を省察するなかで教師の力量を高める教育研究の在り方を探究すること。

◆研究の実用化（今後実用化したいテーマ）

教員養成や現職研修における「ふりかえりと熟考」を、教室からの小さな教育改革の一步にすること

◆受験生等へのメッセージ

現在、学校教育をめぐる問題はたくさんあって、どこから手をつけたらよいのかと思いがぐねるほどですが、現場の教師にとっての希望は「子どもの学びを育てるしごと」そのものにあります。

「教育」について、「教育実践」を通して、ともに考え語り合う、生涯のなかまになりませんか。